

山本 航平くん (清住)



今年、家の手伝いもがらば、将来は家の仕事を継ぎたいと思います。

沼岡いずみさん (東幸町)



昨年、学芸会で子役を一生懸命演じました。将来は声優になりたいです。

須河 夏鈴さん (西富)



昨年、家族みんなで岩見沢市の大きな遊園地に行き、とても楽しかったです。

太田 航平くん (弥生)



昨年の夏に「常呂少年自然の家」に行つてスポーツや勉強に励んでできたことが思い出です。

古谷 彩夏さん (日出町)



昨年は、スケートをがらばつてC級を取つたことがうれしかったです。

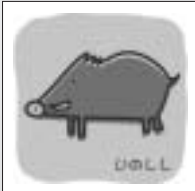
島貫 涉くん (日出)



昨年は、ライオンズカップの野球大会で優勝できたことが、うれしかったことです。

私たち

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。今年「亥年」です。12年に一度迎える年男、年女の方に新年の抱負などをうかがいました。



今年の主役は

亥年

年男・年女の方にお話をうかがいました

昭和 58 年生まれ 伊藤 拓さん (大谷)



昨年、自然災害や農業関係の制度の変更などで、農家としては忙しい毎日でした。今年も日々勉強。時代の変化に対応し、自分の資質をより高めていきたいですね。

昭和 46 年生まれ 伊藤 尚子さん (東幸町)



自分も健康で毎日仕事に励むことができると思います。今年、長男が小学校に入学します。

昭和 34 年生まれ 島田 節子さん (高園)



昨年、農作業で忙しい毎日を送っていましたが、少しでも明るい生活になるように家族みんな元気に生活してきました。

昭和 22 年生まれ 竹村 幸一さん (若富町)



昨年、春先の低温、夏の干ばつと、自然相手の職業である農業にとって大変厳しい1年でした。

昭和 10 年生まれ 白崎 照子さん (旭町)



今年、私が代表の訓子府女声合唱団が、結成30周年となり、12月に記念コンサートを開く予定です。

明けましておめでとうございます



訓子府町議会議長 柴田 喜八

町民のみなさま、明けましておめでとうございます。平成19年の新春をお迎えになりましたことをご喜び申し上げます。

日本経済は、景気が長期拡大されていると言われておりますが、北海道においては、日々の暮らしの中で実感がわかないと感じるところがあります。

本町では昨年4月21日、地域のみなさまの足となってきた道内唯一の第3セクター鉄道のふるさと銀河線が廃止され、網走管内においては北見市などが合併し19市町村に減るなど、地方自治体としては大きく揺れ動いた1年となりました。

基幹産業の農業は、春先の融雪遅れにより農作業開始が一週間ほど遅れ、低温、日照不足、大雨

という自然災害もあり、農地や農作物が大きな被害を受けるなど、一部作物を除きまして平年を若干下回る作柄となりました。

町議会におきましては、新しい時代に対応できるあり方として率先して論議し、今春の統一地方選挙に向けて、いち早く議員定数を現行の4人減の10人とすることで結論を出し、統一地方選挙後は新たな構成で議決機関としての役割を果たしていくこととなります。

また、昨年、町民の方に少しでも議会に関心を持っていただくことを目的に、初めて「ナイト一議会」を試行したところがあります。

平成17年4月に施行された合併新法は、平成22年までの5年間の時限立法ですが、本町でも分権時代の地方自治体としてどうあるべきか、全町民で論議をしなければならないと考えます。

今後とも、みなさまのより一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、今年もみなさまにとりまして、より素晴らしい年でありまうようにご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます



訓子府町長 深見 定雄

町民のみなさま、明けましておめでとうございます。

輝かしい平成19年の新春を健やかに迎えになりましたことを心からお喜び申し上げますとともに、日ごろから町政の推進、特に、行財政改革の取り組みに広くご理解とご協力を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年は、融雪の遅れから農作業の移植時期が一週間程度遅れ心配されましたが、その後は天候に恵まれて生育は回復しました。しかし、8月と10月の大雨により全町的に作物の冠水・流亡などの被害が発生したことは、非常に残念なことであります。

今、地方財政は大きな転換期を迎えております。地方交付税はわが町では歳入の約半分を占める収入で、生命線といっても過言ではありません。この地方交付税の算定の仕組みが見直され、人口と

面積を基準とする内容が平成19年度から導入されようとしております。これは配分の話ですが、一方では地方交付税総額そのものを減額する意向を財務省は打ち出しており、これが実行されれば大きな収入減は避けられない事態となります。

また、国から地方への税源移譲により、一定の割合が所得税から住民税へと移行されることとなります。これは、住民のみなさまの納税先が国から町へと変わっていくことを意味しており、町といたしましては、納期内納税の実現に向けてより一層の努力を重ねるとともに、みなさまへの協力についてもお願い申し上げます。

ますます厳しい情勢を迎える中、町民のみなさまのご理解とご協力をいただきながら職員一丸となって創意工夫をし、最少の経費で最大の効果を発揮できるよう取り組む決意であります。

新しい年を迎え、さらなる躍進の年となることを期待し、町民のみなさまのご健勝を心から祈念申し上げます。

一層の創意工夫を